

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

後継人材は苦労した失敗体験を持つ人 工藤幸四郎（旭化成社長）

1. M&Aを積極的にやってきましたが、全て成功したわけではありません。成功に共通するのは、事業をそもそも経営していた社長や経営陣が会社を愛してやまず、われわれが買収した後も経営を続けているケースです。逆に会社の売却が目的で、買収後に経営者が辞めて日本から経営者を送り込まないといけないパターンは大体失敗しています。
2. 後継人材に求める資質は、現場を知っている人です。企画だけをやっていてと理屈は分かるけど肌感覚で言葉では言えないものが分からない。必死になって物を売りまくるとか、工場でトラブルに見舞われるといった現場感覚がないと難しいと思います。
3. 会社は利益を上げた人が出世しますが、われわれはコングロマリットですから、どうポートフォリオを変えていくかも重要で、苦労した失敗体験を持っていないと難しいです。もうかるところばかりやってきた人ではポートフォリオの変革はできないと思います。

（参考：「週刊ダイヤモンド」2025年9月6日）

経営者のための理念・哲学

君子の大道とは忠信、忠は真心、信は信任・信頼のこと
田口佳史（東洋思想研究家）

1. 「財を生（な）すに大道（たいどう）有（あ）り」。「四書」の一つ、『大学』にある名言です。個人にとっても、財を生ずことは誰しもが望むことでしょうし、国にとっても、とりわけ財政が健全なることは大切なことです。その財を生ずには「大道」があるといっています。更に今回の名言の前にある章句を読むと、もう一つの名言に当たります。「君子に大道有り」。徳治を行う人間自体に、大道があるのかが問われるといっています。
2. では、君子の大道とは何か。「必ず忠信（ちゅうしん）以（もつ）て之を得、驕泰（きょうたい）以て之を失う」とあります。忠は真心、信は信任、信頼です。儒家の教えでは、信は仁義礼智の四徳を揮（ふる）うことにより、相手の心に生じて得られるものとしている。反対に、驕（おご）りたかぶった途端に失うのが大道だということです。
3. 江戸期の大儒の多くは、この「君子の大道」と「財を生ず大道」は、とても密接な関係にあると読むべきだと主張しています。

（参考：「致知」2025年11月号）

人事労務について

年収1000万円、7人に1人（大企業）

1. 国税庁の民間給与実態統計調査では、23年時点で資本金10億円以上の大企業で、1000万円超の給与を得た人は123万人となり、13年比で7割増えた。割合で見れば11人に1人から、7人に1人になっている。大幅な賃上げが続いた24年以降は、さらに「年収1000万円超」の人は増えていると見られる。
2. ただ年収1000万円の持つ「特別感」は失われつつあり、必ずしも喜べない水準になったとの声が出る。ファイナンシャルプランナーの加藤梨里氏は「今の年収1000万円の生活水準は、00年ごろの水準で言えばおよそ800万円と同じくらいではないか」と指摘する。その背景として複数の要因を挙げる。
3. 支出の変化では、共働きが増えたことで時短家電やサービスの支出が増えていること、子供がいる家庭では保育園のほか学童保育や習い事などの支出が不可欠になっていることを指摘する。年収に与える消費者物価の上昇の影響について「この5年くらいで、感覚的には10%は目減りしている」と加藤氏は分析する。

（参考：「日経ビジネス」2025年9月15日号）

古典に学ぶ

他者と力を合わせ知恵を出し合っていく

1. 空海は、「ひとりひとりの力は小さくても、皆が心をひとつにして協力すれば大きな結果を残せる」と訴えました。その結果、多くの喜捨を集め、無事に立派な仏塔が建てられたのです。
2. 現代においても、他者と力を合わせ、知恵を出し合っていくことを抜きにして、何事かを実現していくのは難しいでしょう。

（参考：名取芳彦監修「空海 道を照らす言葉」：河出書房新社）